

小田原石垣山一夜城

天守台(表面露出)瓦

市原市内個人蔵

氏

調査記録書

平成²⁹~~28~~年12月

八幡史学館名所100選チーム

辻志

この資料は引用できません

未見

* 石垣山城跡
神奈川県小田原市

日本史を
歩く

秀吉実力誇示の築城

1590年、豊臣秀吉は關東の雄、北条氏の本拠・小田原城を、水陸の大軍で包囲した。その本営が、わずか3日しか離れていない尾根上に築かれた石垣山城だ。白い紙を張って建物に偽装して周囲の木々を一気に切り



野面積みの石垣が残る石垣山城跡

払い、一夜で城を築いたと見せかけたとの伝承から「一夜城」とも呼ばれる。だが、実際の築城は80日ほどかかったようだ。戦国の城が土塁を巡らせた「土の城」を基本としたのに対し、この城は周囲を石垣で覆った総石垣。東国に初めて登場した威容だった。「力攻めで一気に小田原を落とせばはずの秀吉が、わざわざ石垣の城を築いて包囲し、茶会や能までやった。天下統一の仕上げとして力を見せつけたのだろう」。小田原城天守閣の諏訪間順館長は、そう指摘する。

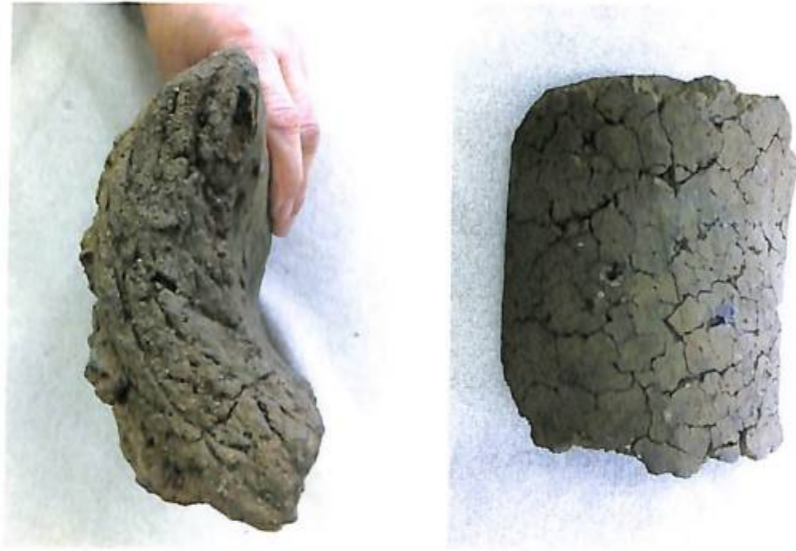
城跡には今も、大小様々な石をほとんど加工せず積み上げた野面積みの石垣が随所に残り、堅固さをしのばせる。標高257㍎の本丸跡の展望台に立つと、小田原城が手に取るように見えた。

眼前に最先端の城を築かれた籠城側の動揺はいかばかりだったか。北条氏が降伏したのは、石垣山城の完成からわずか10日ほど後だった。

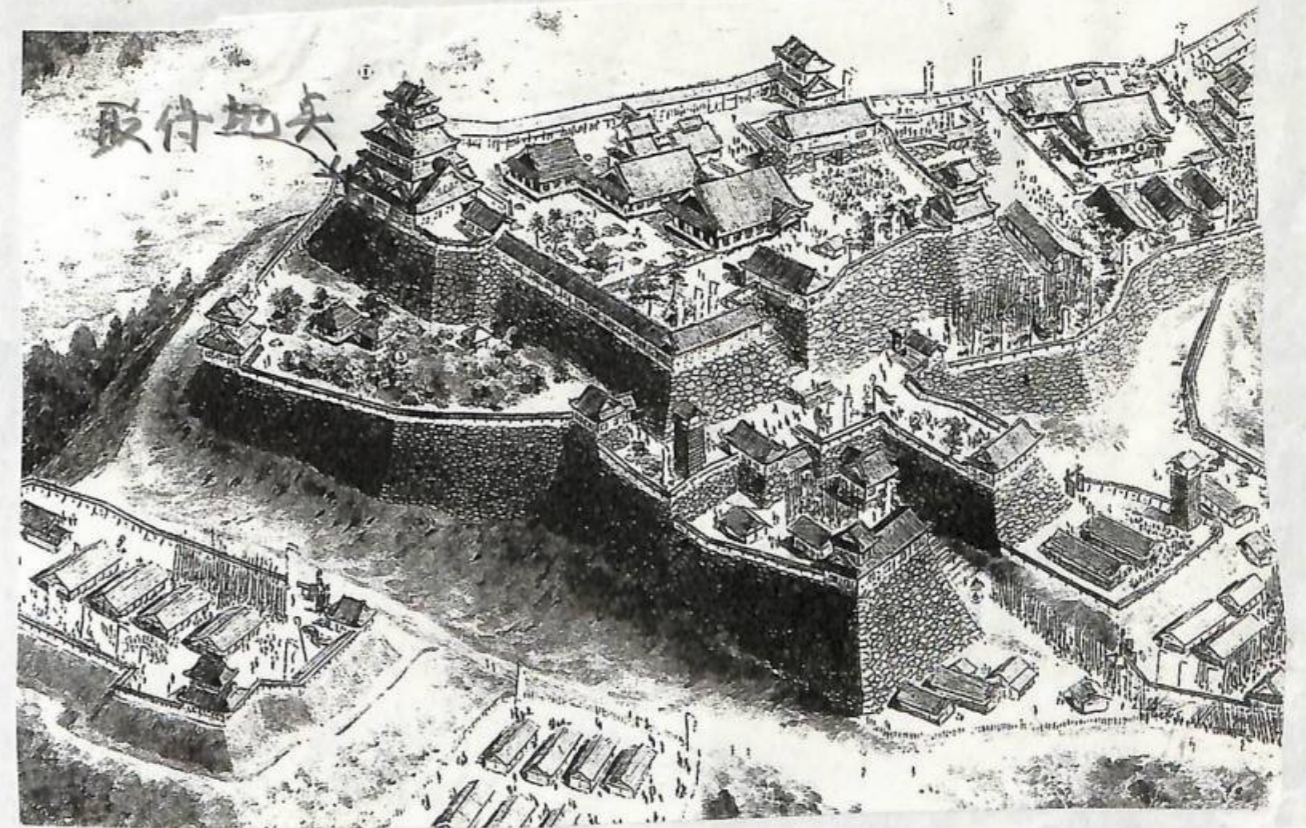
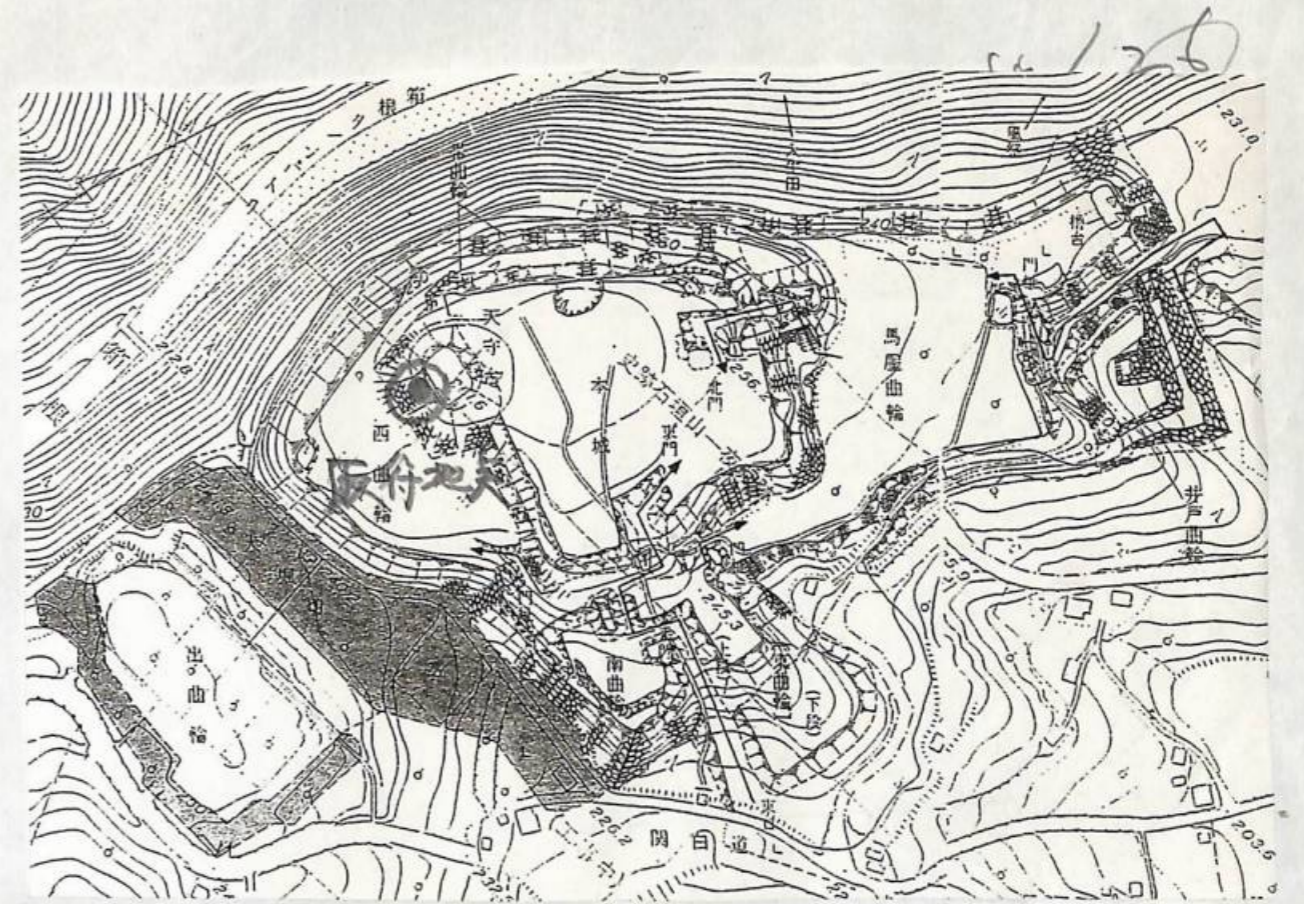
(文化部 清岡史)
◇JR東海道線・早川駅から徒歩約50分

19-1-11 繞り街

① 軒丸瓦 (軒部分之欠角)



軒接合はガレ部分 外側 素焼く、急な山
一夜城 城址の
跡力ある



所蔵者 T 氏による取得状況

取得日 = 平成 28 年 10 月 26 日
公民館のバス研修で「小田原石垣山一夜城」を見学、昼食休憩時間に天守台裏側武者走りで表土に露出していた天守瓦断片 2 点を取得した。

② 棟瓦か 外側



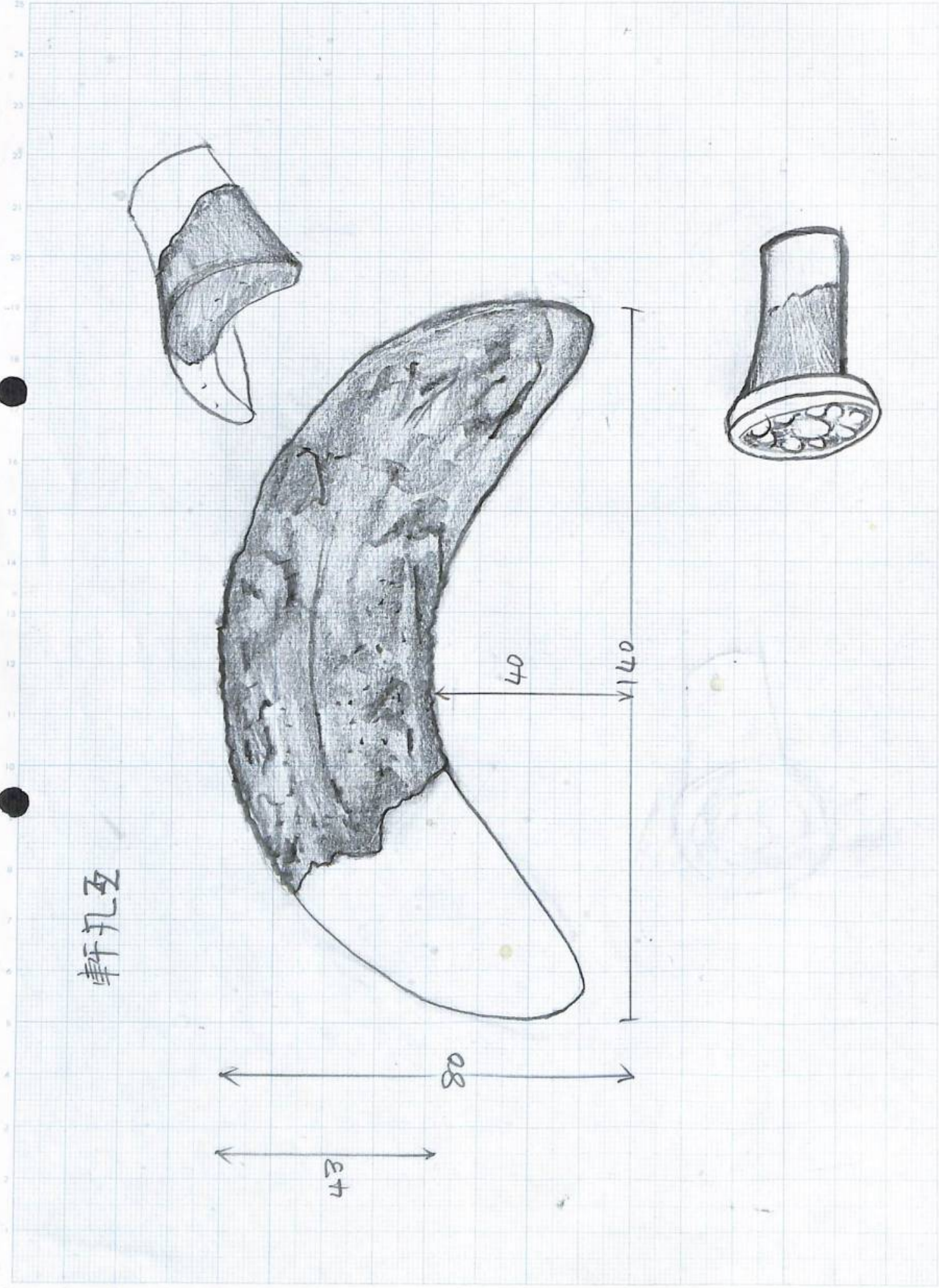
① 軒丸瓦内側



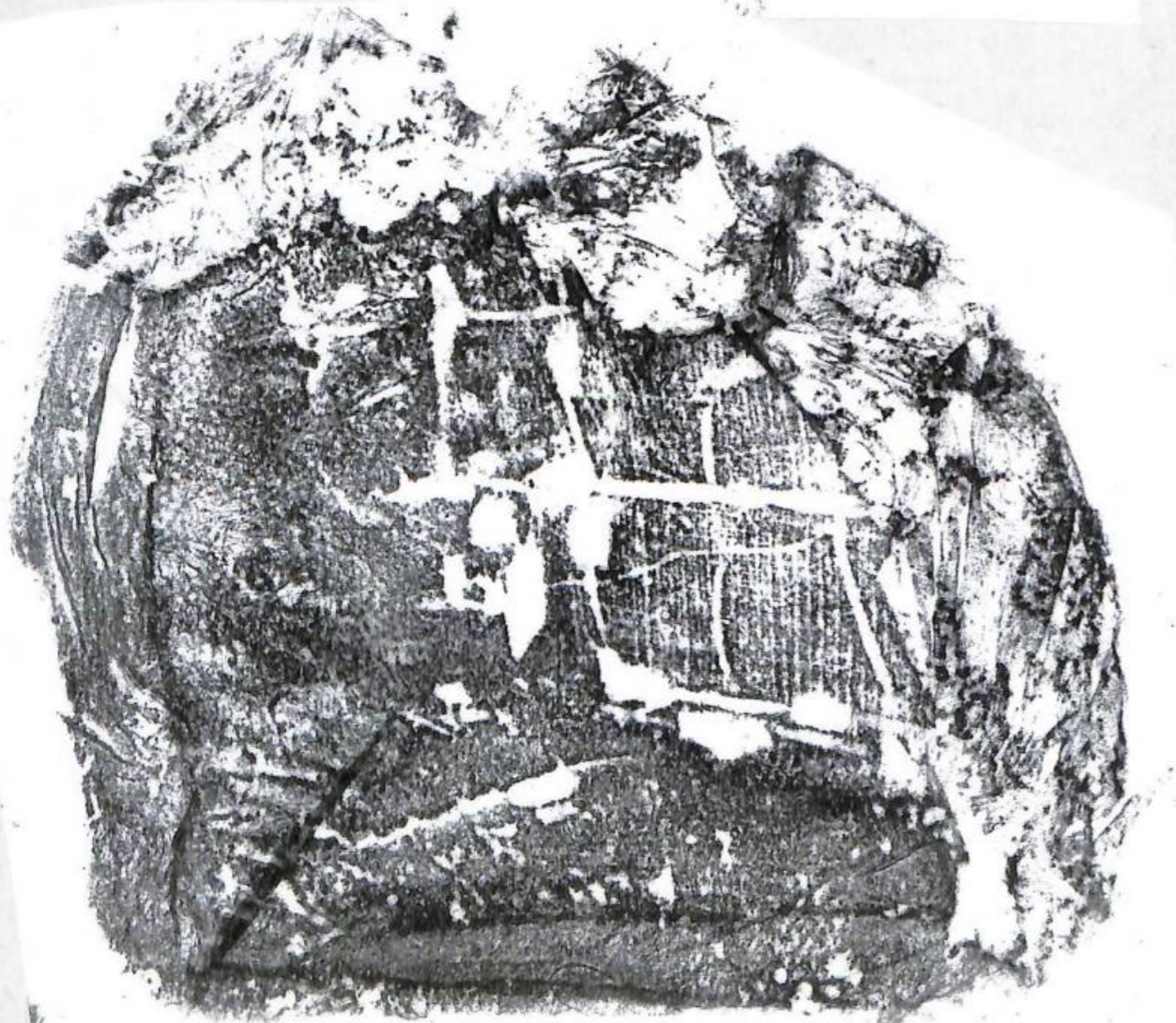
② 標瓦の内側



布目
 ↓
 最後期 9.9.9

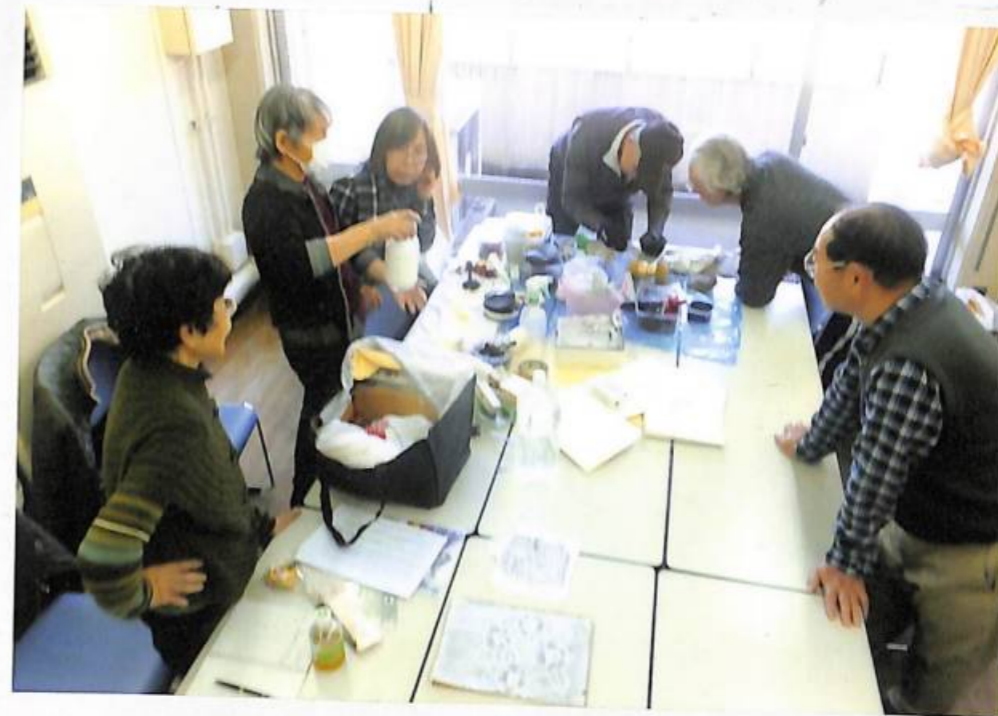


軒瓦



状本 (致寸)

状本 多村陽志

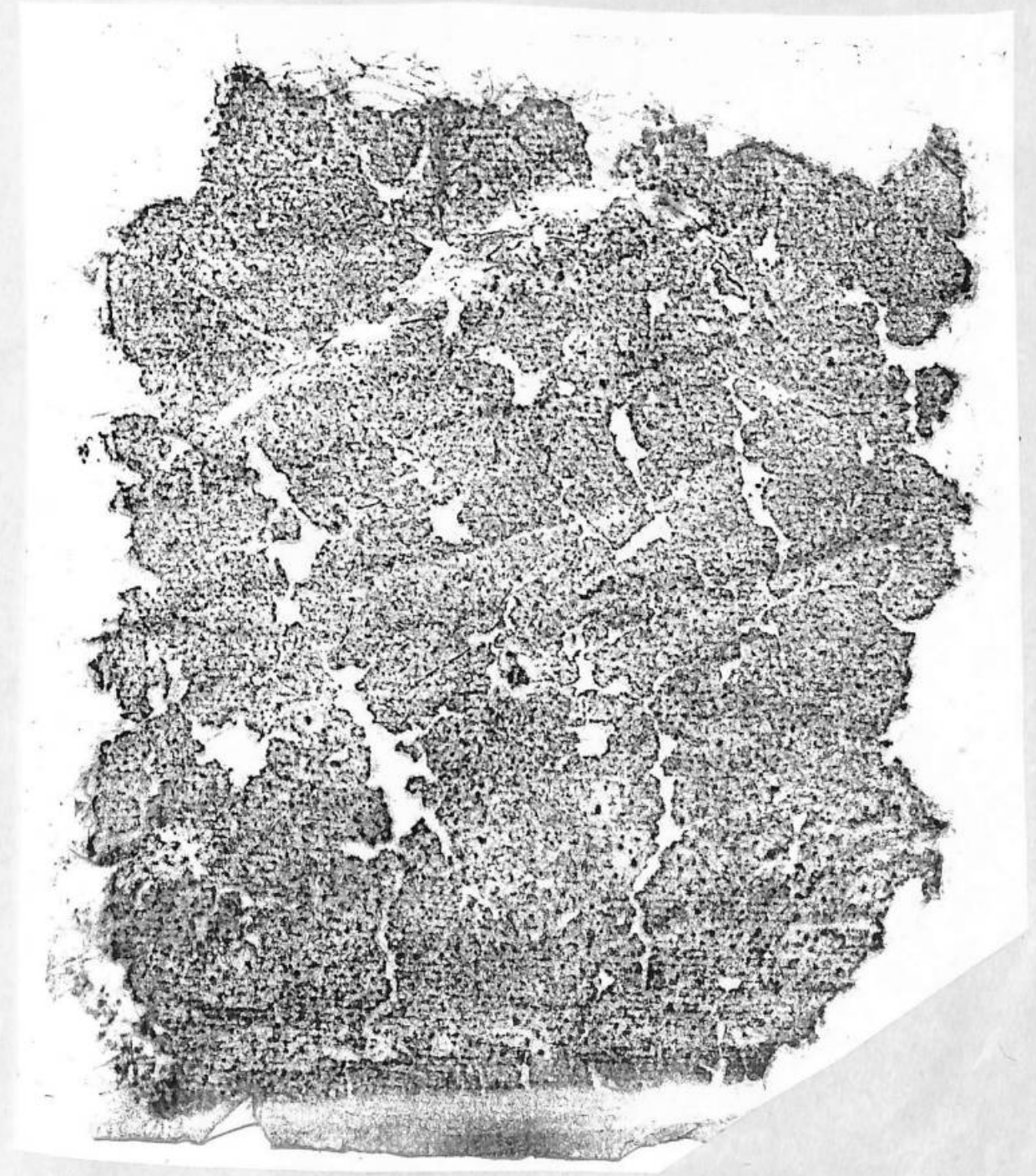


拓本おこし調査状況

12/20



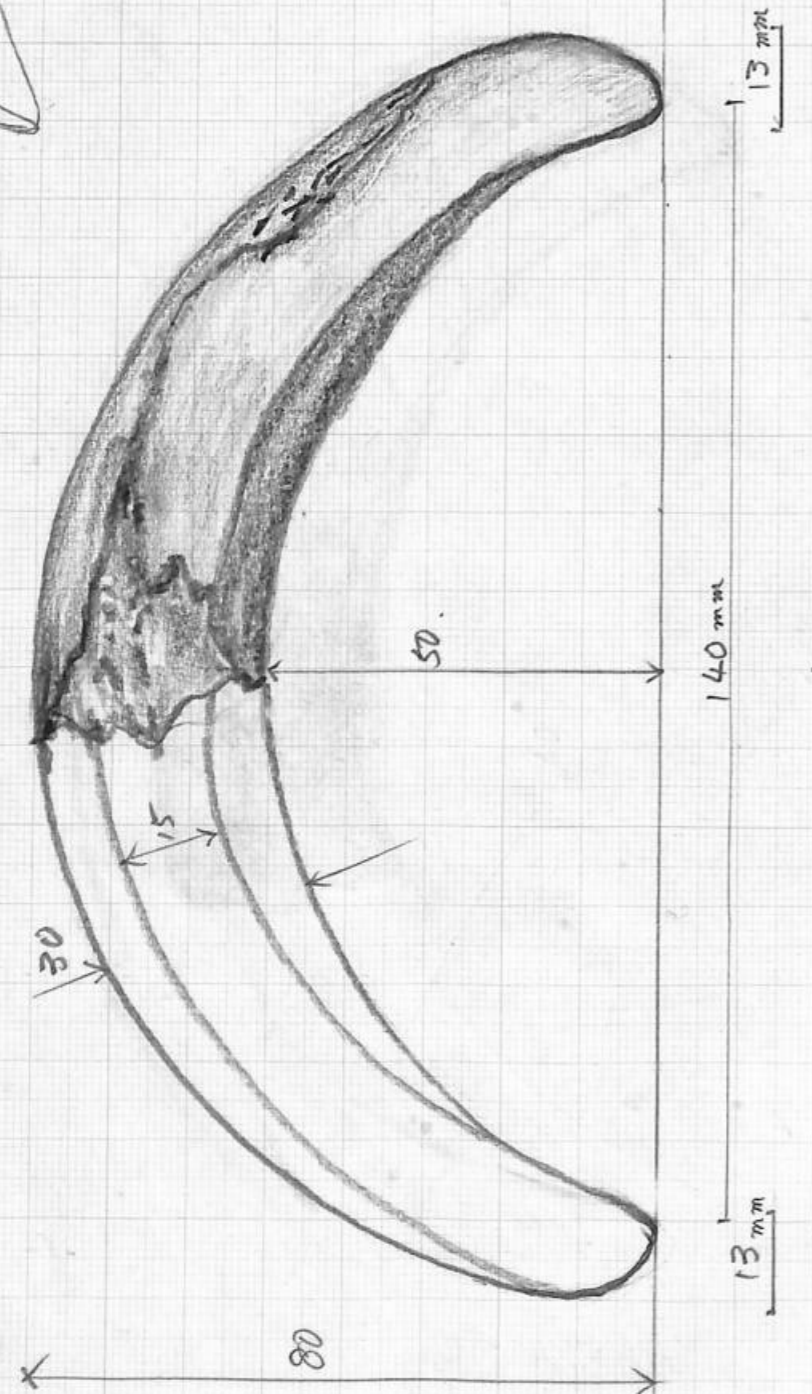
状本 (双寸) 多村勝彦



状本 (双寸) 多村勝彦

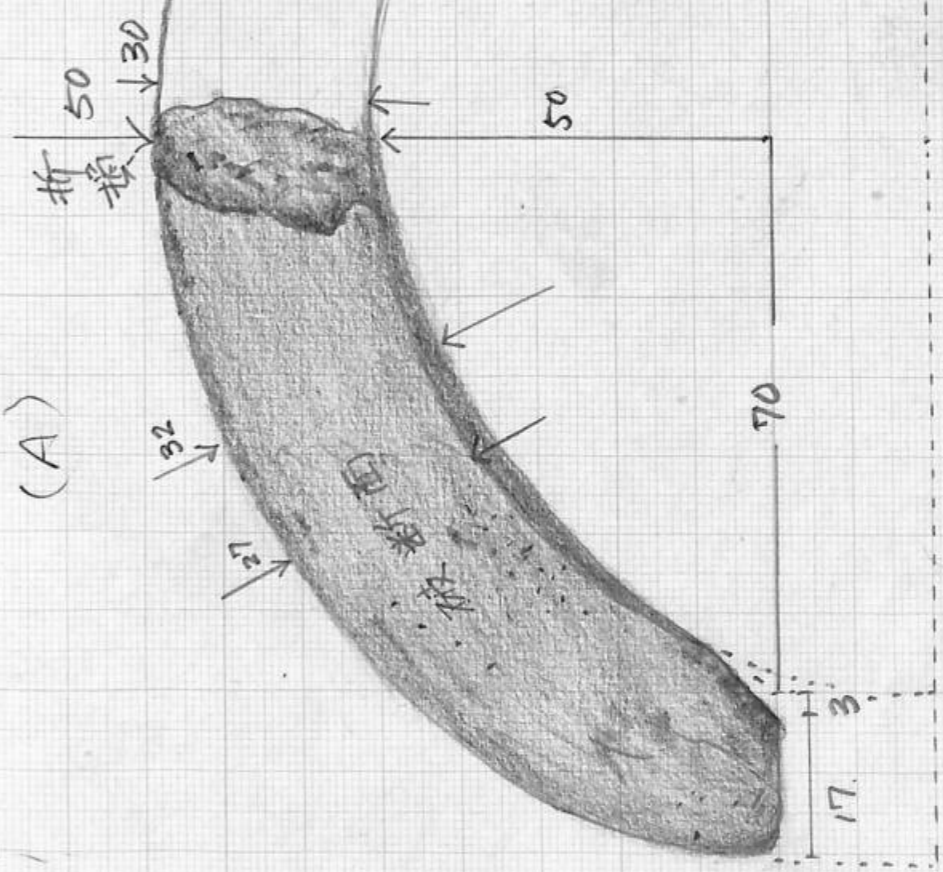
丸豆

(B)



13

(A)



12

市原市八幡

清水あき子さんに聞く

調査記録書

平成 29 年 1 月

八幡史学館名所 100 選 千一ム

参考) 武蔵国分守布目瓦 2014



市原市内 瓦片所蔵



沢本 鷲坪史子 堆美登里
14